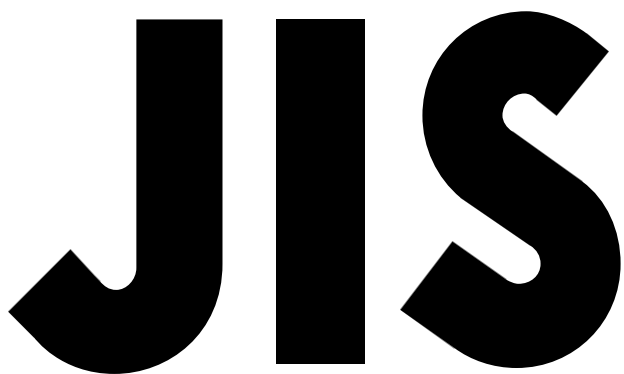




火災危険性試験－電気・電子－第 2-10 部：
グローワイヤ／ホットワイヤ試験方法－
グローワイヤ試験装置及び一般試験方法

JIS C 60695-2-10 : 2023

(IEC 60695-2-10 : 2021)

(JSA)

令和 5 年 12 月 20 日 改正

認定産業標準作成機関 作成・審議

(日本規格協会 発行)

一般財団法人日本規格協会 電気分野産業標準作成委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	岩 本 光 正	東京工業大学名誉教授
(委員)	上 野 貴 由	一般社団法人日本電機工業会
	加 藤 有利子	一般財団法人電気安全環境研究所
	下 川 英 男	一般社団法人電気設備学会
	辻 勝 也	一般社団法人日本電気計測器工業会
	西 原 敏 之	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサル タント・相談員協会
	馬 場 旬 平	東京大学
	松 木 隆 典	電気事業連合会
	南 裕 二	東芝エネルギーシステムズ株式会社
	本 吉 高 行	一般社団法人電気学会
	若 月 壽 子	主婦連合会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 9.4.20 改正：令和 5.12.20

担 当 部 署：経済産業省産業技術環境局 国際電気標準課
(〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1)

官 報 掲 載 日：令和 5.12.20

認定産業標準作成機関：一般財団法人日本規格協会
(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル)

審 議 委 員 会：電気分野産業標準作成委員会（委員長 岩本 光正）

この規格についての意見又は質問は、上記認定産業標準作成機関にご連絡ください。
なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに見直しが行われ速やかに
確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 試験装置の仕様	5
4.1 グローワイヤ	5
4.2 グローワイヤ試験装置の電気回路	6
4.3 温度測定システム	7
4.4 敷物	7
4.5 試験チャンバ	9
4.6 時間計測器	10
5 装置の検証	10
5.1 グローワイヤ先端の検証	10
5.2 温度測定システムの検証	10
6 状態調節	10
7 一般試験手順	11
7.1 試験試料の保持	11
7.2 グローワイヤ温度	11
7.3 グローワイヤの押付け	11
8 一般的な試験の観察事項及び試験結果の評価	11
附属書 A (規定) 着火及び有炎燃焼の判定に関する要求事項	13
附属書 B (参考) 加熱電流値を用いるグローワイヤ温度測定システムの確認手順に関する指針	15
附属書 C (参考) 補足事項－時間、時間間隔及び評価例	17
参考文献	19
解 説	20

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 14 条第 1 項の規定に基づき、認定産業標準作成機関である一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準の案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS C 60695-2-10:2015** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

JIS C 60695-2（火災危険性試験－電気・電子）の第 2 部の規格群は、次に示す部で構成する。

JIS C 60695-2-3 環境試験方法（電気・電子）ヒータによる不完全接統耐火性試験方法

JIS C 60695-2-10 第 2-10 部：グローワイヤ／ホットワイヤ試験方法－グローワイヤ試験装置及び一般試験方法

JIS C 60695-2-11 第 2-11 部：グローワイヤ／ホットワイヤ試験方法－最終製品に対するグローワイヤ有炎燃焼性指数（GWEPT）

JIS C 60695-2-12 第 2-12 部：グローワイヤ／ホットワイヤ試験方法－材料に対するグローワイヤ有炎燃焼性指数（GWFI）

JIS C 60695-2-13 第 2-13 部：グローワイヤ／ホットワイヤ試験方法－材料に対するグローワイヤ着火温度指数（GWIT）

JIS C 60695-2-20 環境試験方法－電気・電子－耐火性試験 グローイング／ホットワイヤ試験法：ホットワイヤ巻付け線による材料の着火性試験

火災危険性試験—電気・電子—第 2-10 部： グローワイヤ／ホットワイヤ試験方法— グローワイヤ試験装置及び一般試験方法

Fire hazard testing—Part 2-10: Glowing/hot-wire based test methods— Glow-wire apparatus and common test procedure

序文

この規格は、2021 年に第 3 版として発行された **IEC 60695-2-10** を基に、技術的内容及び構成を変更することなく作成した日本産業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある参考事項は、対応国際規格にはない事項である。

1 適用範囲

この規格は、シミュレーション技術を用いて短時間で火災危険性を評価するために、例えば、赤熱素子、過負荷抵抗などの熱源による熱ストレスの影響を模擬するためのグローワイヤ試験装置及び一般試験方法について規定する。

この規格に規定する試験方法は、着火源として規格化された電熱線を用いる小規模火災試験を意図した一般試験方法である。

この規格に規定する試験方法は、最終製品及び固体絶縁材料又はその他の固体可燃性材料に適用する。

試験方法の詳細は、規格群である **JIS C 60695-2-11**、**JIS C 60695-2-12** 及び **JIS C 60695-2-13** に規定されている。

この規格は、主に安全試験方法に焦点を当てた基本安全規格として、**IEC Guide 104** 及び **JIS Z 8051** に規定されている原則に従って、製品安全規格の作成に用いることを意図している。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

IEC 60695-2-10:2021, Fire hazard testing—Part 2-10: Glowing/hot-wire based test methods—Glow-wire apparatus and common test procedure (IDT)

なお、対応の程度を表す記号“IDT”は、**ISO/IEC Guide 21-1** に基づき、“一致している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項